

横田基地南東部でオスプレイが戦場さながらの訓練



横田基地では、オスプレイから、戦場に降りたり、負傷者を救出したりする訓練が日常的に。

約5mの高さからロープを使って10人ほどが次々に降り立つ。ロープの掴み加減で速度調整が難しく、勢いよく降りて腰を痛めたか、立ち上がれない兵士も！両脇を抱えられて退場。

軽傷者を吊り上げる器具

下のアームが可動式になっており、ここに腰掛けて負傷者を抱きかかえて、対地高度約30mでホバリングするオスプレイの開閉デッキの上部に設置してあるウインチを使って吊り上げる。以下、左側の写真はいずれも横田基地日米友好祭で展示



重傷者あるいは死者を固定して吊り上げる担架(オスプレイの横に展示、ダミーが乗せてある、左腕が骨折！)



負傷者をカゴに乗せて吊り上げることもある、クッションに説明図が。



海兵隊員が横田基地空軍オスプレイから降下訓練

6月5日4時18分、11人降下

6月7日2時39分10人、3時24分11人、
4時13分11人が降下しました。いずれも約2,600m
の高度からパラセールによる降下でした。

下写真 7日 降下訓練のため2機離陸



6月29日17時19分 約4,000mの高度から9人降下
18時17分 約1,800mの高度から9人降下 右写真
4,000mの高度からのジャンプでは、2,000m位まで
パラセールを開かずに急降下し、1,800mの高度から
のジャンプではすぐにパラセールを開きます。

横田基地南側の草地にウクライナの国旗みたいなのが
立ててあり、パラセールを操りながら、その近くに
降下します。下写真。



無人偵察機 RQ-4B 3機が暫定配備

米空軍の無人偵察機が5月15日 1機 (08-2034) 飛来し、5月22日 2機目 (GF10-2044) が飛来、
6月15日 3機目 (GF09-2040) が飛来しました。

今年10月までの暫定配備は、3機の子定だそうです。

